

森鶴

山

隆久

編

萬
葉
集

桜
楓
社

つる 鶴	ひさし 久	大正15年 (1926) 福岡県柳川市に生まれる 昭和28年 九州大学文学部卒業 現 在 福岡女子大学教授
もりやま 森山	たかし 隆	昭和3年 (1928) 長崎市に生まれる 昭和29年 九州大学文学部卒業 現 在 九州大学教授

萬 葉 集

		昭和四十七年四月五日 昭和四十七年四月十日	初版印刷 初版発行
		編 者	鶴 久
		發行者	及 森
		印刷所	川 山 第一印刷所
	101 東京都千代田区猿樂町二の二の六		
	(株) 桜 楓 社		
	(電話) (〇三)二九一―五六六一		
	(振替) 東京 一八〇〇二〇〇		
		定 価	一 二 〇 〇 円

凡 例

一 本書は、西本願寺本萬葉集を底本として、その目録・本文に校訂を加え、傍訓を付し、さらに現行諸注釈書の訓を頭注に掲げたものである。

一 本文について。

(イ) 底本は竹柏會複製西本願寺本萬葉集を使用し、傍訓は編者の協議によって施した。

(ロ) 他の萬葉集諸本によって底本の文字を改訂する場合には、その左に黒点(・)をもって示し、また諸本の異同を示す場合には*印を付して、校異はともに脚注とした。校訂には、複製のある古写本はそれを使用し、その他は校本萬葉集に拠った。

(ハ) 本文の字体は底本に従うことを原則としたが、印刷その他の事情で異体字・慣用字・略体字などを改めたものがある。

蘇―蕪、麻呂―麿、尔―尔、廻―迴、熟―焚、岡―罌、歌―調・哥、敝―敝、折―析……など。

一 頭注について。

(イ) 本文の傍訓と異なる現行諸注釈書の訓は、可能なかぎり頭注として掲げた。その主なものは、萬葉集注釋(澤瀉久孝)(略号陸釋)、塙書房萬葉集(佐竹昭広・木下正俊・小島憲之)(略号圃)、岩波日本古典文学大系萬葉集(高木市之助・五味智英・大野晋)(略号圃)、増訂萬葉集全註釋(武田祐吉)(略号陸釋)および萬葉集私注(土屋文明)(略号圃陸)、新校萬葉集(澤瀉久孝・佐伯梅友)(略号圃陸)などである。

(四) 頭注は句単位に掲げて第何句ということを示さず、異なる句の訓は行間をあけて区別したが、紙幅の関係で行間をつめざるを得なかった箇所がある。

(イ) 誤字説、脱字説を含む訓は、その該当字を括弧内に示すことを原則とした。

(ニ) 係助詞ソ・ゾの清濁の違いについては、いちいち揭示しなかった。なお、本書ではすべてゾに統一した。
一 脚注について。

(イ) 底本文の改訂(・印)および異同(*印)の校異は直下の脚注欄に示した。改訂の際に、現存諸本に當該字が無く注釈書の「説」に拠った場合は(……ニヨル)と記した。

(四) 底本文には同筆または別筆による書き直し、見セ消テ、補入、貼紙などの訂正があるが、これらには必要に応じてそれぞれ、西訂・西補・西貼紙として示した。なお、校異に使用した諸本の略号は次の通りである。

桂	桂本	藍	藍紙本	天	天治本
元	元曆校本	類	類聚古集	冷	伝冷泉為頼筆
紀	紀州本	温	温古堂本	嘉	嘉曆傳承本
細	細井本	金	金澤本		
矢	大矢本	京	京大本		
尼	尼崎本	春	春日本		
文	金澤文庫本	古	古葉略類聚鈔		
附	活字附訓本	無	活字無訓本		
寛	寛永版本	壬	傳壬生隆祐筆本		

略 萬葉集略解 古義 萬葉集古義 新考 萬葉集新考

代初 萬葉代匠記初稿本 代精 萬葉代匠記精撰本 愚考 萬葉集誤字愚考

考 萬葉考 拾 萬葉拾穗抄 訓釋 萬葉集訓釋

檜婦手 萬葉檜婦手 童 萬葉集童蒙抄 新訓 新訓萬葉集

大成 萬葉集大成 定本 定本萬葉集 新校 新校萬葉集

注釋 萬葉集注釋 岩 岩波古典文学大系萬葉集

稿 萬葉集 全註釋 增訂萬葉集全註釋

(ハ) 寛永版本の丁数を漢数字ゴチックで脚注欄に付した。

昭和四十七年二月一日

鶴 久
森山 隆

萬葉集目錄

卷第一

雜歌

- 一 泊瀬朝倉宮御宇天皇代
一天皇御製歌
- 二 高市岡本宮御宇天皇代
- 三 天皇登香具山望國之時御製歌
- 四 天皇遊瀧內野之時中皇命使間人連老獻歌
并短歌
- 五 幸讚岐國安益郡之時軍王見山作歌并短歌
- 六 明日香川原宮御宇天皇代
- 七 額田王歌未詳
- 八 後岡本宮御宇天皇代
- 九 額田王歌
- 一〇 幸紀伊温泉之時額田王作歌
- 一一 中皇命往于紀伊温泉之時御歌三首
- 一二 中大兄三山御歌一首并短歌
- 一三 近江大津宮御宇天皇代
- 一四 天皇詔內大臣藤原朝臣饒憐春山萬花之艶
- 一五 秋山千葉之彩時額田王以歌判之歌

歌(元紀ナシ)

伊(紀冷文西補)ナシ

江(元冷紀)江國

一七 額田王下近江國時作歌并戶王和歌

一八 天皇遊瀧瀨生野時額田王作歌

一九 皇太子答御歌

明日香清御原宮御宇天皇代

二〇 十市皇女參赴於伊勢神宮時見波多橫山巖

吹突刀自作歌

二一 麻績王流於伊勢國伊良真嶋之時人哀痛作

歌

二二 麻績王聞之感傷和歌

二三 天皇御製歌

二四 或本歌

二五 天皇幸吉野宮時御製歌

藤原宮御宇天皇代

二六 天皇御製歌

二七 過近江荒都時柿本朝臣人麿作歌一首并短

歌

二八 高市連古人感傷近江舊堵作歌

幸紀伊國時川嶋皇子御作歌

二九 阿閉皇女越勢能山之時御歌

三〇 幸吉野宮之時柿本朝臣人麿作歌二首并短

歌二首

三一 幸伊勢國之時留京柿本朝臣人麿作歌三首

三二 當麻真人麿妻作歌

蒲(細温文)一補

神(元冷)一大神
炎(元冷矢)黃

天皇御製歌(元紀温西
補)ナシ

古(元紀)一里
或書云々(元紀ナシ)

四 石上大臣從駕作歌

望 輕皇子宿于安騎野時柿本朝臣人麿作歌一
首并短歌

三 藤原宮之役民作歌

二 從明日香宮遷居藤原宮之後志貴皇子御作
歌

三 藤原宮御井歌一首并短歌

五 大寶元年辛丑秋九月太上天皇幸紀伊國時

歌二首

或本歌

二年壬寅太上天皇幸參河國時歌

五 長忌寸奧磨一首

五 高市連黑人一首

五 譽謝女王作歌

六 長皇子御歌從駕作歌

六 舍人娘子從駕作歌

六 三野連名闕入唐時春日藏首老作歌

查 山上臣憶良在大唐時憶本鄉作歌

慶雲三年丙午幸難波宮時歌二首

六 志貴皇子御歌

六 長皇子御歌

太上天皇幸難波宮時歌四首

六 置始東人作歌

六 作主未詳歌高安大稿

六 身人部王作歌

六 清江娘子進長皇子歌

七 太上天皇幸吉野宮時高市連黑人作歌

七 大行天皇幸難波宮時歌三首

七 忍坂部乙磨作歌

七 作主未詳歌式部卿藤原子合

七 長皇子御歌

七 大行天皇幸吉野宮時歌二首

七 或云天皇御製歌

七 長屋王歌

七 和銅元年戊申

七 天皇御製歌

七 御名部皇女奉和御歌

七 三年庚戌春二月從藤原宮遷于寧樂宮時御
與停長屋原迺望古鄉御作歌

七 一書歌

七 五年壬子夏四月遣長田王伊勢齋宮時山邊
御井作歌三首

六 寧樂宮長皇子與志貴皇子宴於佐紀宮歌

六 長皇子御歌

式部卿云々(元紀ナシ)

迺(元紀文一題)

卷第二

相聞

難波高津宮御宇天皇代

全 磐姫皇后思 天皇御作歌四首

九 或本歌一首

古事記歌一首

近江大津宮御宇天皇代

全 天皇賜鏡王女御歌一首

全 鏡王女奉和歌一首

全 內大臣藤原卿媁鏡王女時鏡王女贈內大臣

歌一首

全 內大臣報贈鏡王女歌一首

全 內大臣娶采女安見兒時作歌一首

全 久米禪師媁石川郎女時歌五首

全 大伴宿祢媁巨勢郎女時歌一首

全 巨勢郎女報贈歌一首

明日香清御原宮御宇天皇代

全 天皇賜藤原夫人御歌一首

全 藤原夫人奉和歌一首

藤原宮御宇天皇代

全 大津皇子竊下於伊勢神宮還上時大伯皇女

御作歌二首

萬葉集目錄

作(金紀)一ナシ

一〇七 大津皇子贈石川郎女御歌一首

一〇八 石川郎女奉和歌一首

一〇九 大津皇子竊婚石川郎女時津守連通占露其

事皇子御作歌一首

一一〇 日並所知皇子尊賜石川郎女御歌一首 女郎

字日大名兒

一一一 幸吉野宮時弓削皇子贈額田王歌一首

一一二 額田王奉和歌一首

一一三 從吉野折取蘂生松柯遣時額田王奉入歌一

首

一一四 但馬皇女在高市皇子宮之時思穗積皇子御

作歌一首

一一五 勅穗積皇子遣於近江志賀山寺時但馬皇女

御作歌一首

一一六 但馬皇女在高市皇子宮時竊接穗積皇子之

事既形而後御作歌一首

一一七 舍人皇子御歌一首

一一八 舍人娘子奉和歌一首

一一九 弓削皇子思紀皇女御歌四首

一二〇 三方沙弥娶國臣生羽之女未經幾時臥病作

歌三首

一二一 石川女郎贈大伴宿祢田主歌一首

一二二 大伴宿祢田主報贈歌一首

臣(元金紀)一巨
生(元金紀西補)一ナシ

- 二三 石川女郎更贈大伴宿祢田主歌一首
- 二四 大津皇子宮侍石川女郎贈大伴宿祢宿奈麿歌一首

歌一首

- 二五 長皇子与皇弟御歌一首
- 二六 柿本朝臣人麿從石見國別妻上来時歌一首并短歌

- 二七 或本歌一首并短歌
- 二八 柿本朝臣人麿妻依羅娘子与人麿相別歌一首

挽歌

後岡本宮御宇天皇代

- 二九 有間皇子自傷結松枝歌一首
- 三〇 長忌寸意吉麿見結松哀咽歌一首
- 三一 山上臣憶良追和歌一首
- 三二 大寶元年辛丑幸紀伊國時見結松歌一首
- 三三 近江大津宮御宇天皇代
- 三四 天皇聖躬不豫之時太后奉御歌一首
- 三五 一書歌一首
- 三六 天皇崩後太后御作歌一首
- 三七 天皇崩時婦人作歌一首未詳姓氏
- 三八 天皇大殯之時歌一首
- 三九 太后御歌一首

大(元金起)一六

大(元温矢)一六

- 四〇 石川夫人歌一首
- 四一 從山科御陵退散之時額田王作歌一首

明日香清御原宮御宇天皇代

- 四二 十市皇女薨時高市皇子尊御作歌一首
- 四三 天皇崩時太后御作歌一首
- 四四 一書歌一首

- 四五 天皇崩之後八年九月九日奉為御齋會之夜夢裏習賜御歌一首

藤原宮御宇天皇代

- 四六 大津皇子薨後大來皇女從伊勢齋宮還京之時御作歌一首
- 四七 移葬大津皇子屍於葛城二上山之時大來皇女哀傷御作歌一首
- 四八 日並皇子尊殯宮之時柿本朝臣人麿作歌一首并短歌
- 四九 或本歌一首
- 五〇 皇子尊舍人等慟傷作歌二十三首
- 五一 柿本朝臣人麿獻泊瀨部皇女忍坂部皇子歌一首并短歌
- 五二 明日香皇女木庭殯宮之時柿本朝臣人麿作歌一首并短歌
- 五三 高市皇子尊城上殯宮之時柿本朝臣人麿作歌一首并短歌

卷第三

雜歌

- 三三〇 或本歌一首
 - 三三一 但馬皇女薨後穗積皇子冬日雪落遙望御墓
 - 三三二 悲傷流涕御作歌一首
 - 三三三 弓削皇子薨時置始東人作歌一首并短歌
 - 三三四 柿本朝臣人麿妻死之後泣血哀慟作歌二首并短歌
 - 三三五 或本歌一首并短歌
 - 三三六 吉備津采女死時柿本朝臣人麿作歌一首并短歌
 - 三三七 讚岐狹岑嶋視石中死人柿本朝臣人麿作歌一首并短歌
 - 三三八 柿本朝臣人麿在石見國臨死之時自傷作歌一首
 - 三三九 柿本朝臣人麿死時妻依羅娘子作歌二首
 - 三四〇 丹比真人名關擬柿本朝臣人麿之意報歌一首
 - 三四一 或本歌一首
 - 三四二 寧楽宮
 - 三四三 和銅四年歲次辛亥河邊宮人姬嶋松原見孃子之屍悲嘆作歌二首
 - 三四四 靈龜元年乙卯秋九月志貴親王薨時歌一首
 - 三四五 或本歌二首
-
- 三三〇 或本反歌一首
 - 三三一 弓削皇子遊吉野之時御歌一首
 - 三三二 春日王奉和歌一首
 - 三三三 或本歌一首
 - 三三四 長田王被遺筑紫渡水嶋之時歌二首
 - 三三五 石川大夫和歌一首名關
 - 三三六 又長田王作歌一首
 - 三三七 柿本朝臣人麿鬪旅歌八首
 - 三三八 鴨君足人香具山歌一首并短歌
 - 三三九 或本歌一首
 - 三四〇 柿本朝臣人麿獻新田部皇子歌一首并短歌
 - 三四一 刑部垂麿從近江國上來時作歌一首
 - 三四二 柿本朝臣人麿從近江國上來時至宇治河邊時(紀溫矢西補)一ナシ作歌一首

意吉(細西訓一奧)

- 三二五 長忌寸意吉鷹歌一首
- 三二六 柿本朝臣人鷹歌一首
- 三二七 志貴皇子御歌一首
- 三二八 長屋王故鄉歌一首
- 三二九 阿倍女郎屋部坂歌一首
- 三三〇 高市連黑人織旅歌八首
- 三三一 石川少郎歌一首名曰君子
- 三三二 高市連黑人歌二首
- 三三三 黑人妻答歌一首
- 三三四 春日藏首老歌一首
- 三三五 高市連黑人歌一首
- 三三六 春日藏首老歌一首
- 三三七 丹比真人笠麿往紀伊國超勢能山時作歌一首
- 三三八 春日藏首老即和歌一首
- 三三九 幸志賀之時石上卿作歌一首
- 三四〇 穗積朝臣老歌一首
- 三四一 間人宿祢大浦初月歌二首
- 三四二 小田事勢能山歌一首
- 三四三 角鷹歌四首
- 三四四 田口益人大夫任上野國司時至駿河國清見
- 三四五 崎作歌二首
- 三四六 弁基歌一首

大夫(紀細一朝臣)

- 三三九 大納言大伴卿歌一首未詳
- 三四〇 長屋王駐馬寧樂山作歌二首
- 三四一 中納言安倍廣庭卿歌一首
- 三四二 柿本朝臣人鷹下筑紫國時海路作歌二首
- 三四三 高市連黑人近江舊都歌一首
- 三四四 幸伊勢國之時安貴王作歌一首
- 三四五 博通法師往紀伊國見三穗石室作歌三首
- 三四六 門部王詠東市中木作歌一首後賜姓大原真人氏也
- 三四七 按作村主益人從豐前國上京之時作歌一首
- 三四八 式部卿藤原宇合卿被遣改造難波堵之時作歌一首
- 三四九 土理宣令歌一首
- 三五〇 波多朝臣少足歌一首
- 三五一 暮春之月幸芳野離宮之時中納言大伴卿奉勅作歌一首并短歌
- 三五二 山部宿祢赤人望不盡山歌一首并短歌
- 三五三 詠不盡山歌一首并短歌 笠朝臣金村歌中之出
- 三五四 山部宿祢赤人至伊豫温泉作歌一首并短歌
- 三五五 登神岳山部宿祢赤人作歌一首并短歌
- 三五六 門部王在難波見漁父燭光作歌一首 後賜姓大原真人氏也
- 三五七 或娘子等以雲乾鯨贈通觀僧戲請咒願之時通觀作歌一首

- 三六 大宰少貳小野老朝臣歌一首
- 三六 防人司佑大伴四綱歌二首
- 三三 帥大伴卿歌五首
- 三六 沙弥滿誓詠綿歌一首 造筑紫觀音寺別當、為俗姓笠朝臣鷹也
- 三七 山上憶良臣罷宴歌一首
- 三六 大宰帥大伴卿讚酒歌十三首
- 三五 滿誓沙弥歌一首
- 三五 若湯座王歌一首
- 三五 釋通觀歌一首
- 三五 日置少老歌一首
- 三五 生石村主真人歌一首
- 三五 上古鷹歌一首
- 三七 山部宿祢赤人歌六首
- 三六 或本歌一首
- 三六 笠朝臣金村塩津山作歌二首
- 三六 角鹿津乘船之時笠朝臣金村作歌一首 并短歌
- 三六 石上大夫歌一首
- 三六 和歌一首
- 三七 安倍廣庭卿歌一首
- 三七 出雲守門部王思京師歌一首 後賜姓大原真人氏也
- 三七 山部宿祢赤人登春日野作歌一首 并短歌
- 三七 石上乙鷹朝臣歌一首
- 三七 湯原王芳野作歌一首

大(紀矢京)一太

歌(紀温矢西補)一ナシ
為(紀西訂)一焉

大(紀)一太

少(紀温矢)一小

- 三六 湯原王宴席歌二首
- 三六 山部宿祢赤人詠故太政大臣藤原家之山池作歌一首
- 三七 大伴坂上郎女祭神歌一首 并短歌
- 三六 筑紫娘子贈行旅歌一首 娘子字白兒嶋
- 三六 登筑波岳丹比真人國人作歌一首 并短歌
- 三六 山部宿祢赤人歌一首
- 三六 仙柘枝歌三首
- 三六 羈旅歌一首 并短歌

譬喩歌

- 三六 紀皇女御歌一首
- 三六 造筑紫觀音寺別當沙弥滿誓歌一首
- 三六 大宰大監大伴宿祢百代梅歌一首
- 三六 滿誓沙弥月歌一首
- 三六 余明軍歌一首
- 三六 笠女郎贈大伴宿祢家持歌三首
- 三六 藤原朝臣八束梅歌二首
- 三六 大伴宿祢駿河鷹梅歌一首
- 三六 大伴坂上郎女宴親族之日吟歌一首
- 三六 大伴宿祢駿河鷹即和歌一首
- 三六 大伴宿祢家持贈同坂上家之大嬢歌一首
- 三六 娘子報佐伯宿祢赤鷹贈歌一首

大(金紀温)一太

余(金紀)一金

大伴以下、西ハ四〇六
娘子云々ノ次ニアリ
上記ノ位置ニ訂スベキ
記号アリ

四〇五 佐伯宿祢赤麿更贈歌一首

四〇六 娘子復報歌一首

四〇七 大伴宿祢駿河麿同坂上家之二孃歌一首

四〇八 大伴宿祢家持贈同坂上家之大孃歌一首

四〇九 大伴宿祢駿河麿歌一首

四一〇 大伴坂上郎女橋歌一首

四一一 和歌一首

四一二 市原王歌一首

四一三 大網公人主宴吟歌一首

四一四 大伴宿祢家持歌一首

挽歌

四一五 上宮聖德皇子出遊竹原井之時見龍田山死人悲傷御作歌一首小縣田宮御宇天皇代

四一六 大津皇子被死之時誓余池陂流涕御作歌一首

四一七 河內王葬豐前國鏡山之時手持女王作歌一首

四一八 石田王卒之時丹生王作歌一首并短歌

四一九 同石田王卒之時山前王哀傷作歌一首

四二〇 或本反歌二首

四二一 柿本朝臣人麿見香具山屍悲慟作歌一首

四二二 田口廣麿死之時刑部垂麿作歌一首

四二七 田口廣麿死之時刑部垂麿作歌一首

四二七 田口廣麿死之時刑部垂麿作歌一首

卒(紀矢京)一畢

卒(紀矢京)一畢

四二六 土形娘子火葬泊瀨山時柿本朝臣人麿作歌一首

四二七 溺死出雲娘子火葬吉野時柿本朝臣人麿作歌二首

四二八 過勝鹿真間娘子墓時山部宿祢赤人作歌一首并短歌

四二九 和銅四年辛亥

四三〇 河邊宮人見姬島松原美人屍哀慟作歌四首

四三一 神龜五年戊辰

四三二 大宰帥大伴卿思戀故人歌三首

四三三 神龜六年己巳

四三四 左大臣長屋王賜死之後倉橋部女王作歌一首

四三五 悲傷膳部王歌一首

四三六 天平元年己巳

四三七 攝津國班田史生文部龍麿自經死之時判官大伴宿祢三中作歌一首并短歌

四三八 天平二年庚午

四三九 冬十二月大宰帥大伴卿向京上道之時作歌五首

四四〇 遷入故鄉家即作歌三首

四四一 天平三年辛未

四四二 秋七月大納言大伴卿薨之時作歌六首

四四三 秋七月大納言大伴卿薨之時作歌六首

四四四 秋七月大納言大伴卿薨之時作歌六首

四四五 秋七月大納言大伴卿薨之時作歌六首

四四六 秋七月大納言大伴卿薨之時作歌六首

四四七 秋七月大納言大伴卿薨之時作歌六首

四四八 秋七月大納言大伴卿薨之時作歌六首

大(紀)一太帥大(紀温矢)一太帥

大(紀)一太

天平七年乙亥

四六 大伴坂上郎女悲嘆尼理願死去作歌一首

并短歌

天平十一年己卯

四七 夏六月大伴宿祢家持悲傷亡妾作歌一首

四八 又大伴宿祢書持即和歌一首

四九 又家持見砌上覆麥花作歌一首

五〇 移朔而後悲嘆秋風家持作歌一首

五一 又家持作歌一首并短歌

五二 悲緒未息更作歌五首

天平十六年甲申

五三 春二月安積皇子薨之時內舍人大伴宿祢家持作歌六首

五四 悲傷死妻高橋朝臣作歌一首并短歌

卷第四

相聞

四六四 難波天皇妹奉在上山跡皇兄御歌一首

四六五 岡本天皇御製一首并短歌

四六六 額田王思近江天皇作歌一首

四六七 鏡王女作歌一首

四六八 吹炭刀自歌二首

四六九 田部忌寸櫛子任大宰時歌四首

萬葉集目錄

大(紀細)一太

四六六 柿本朝臣人麿歌四首

四六七 碁檀越往伊勢國時留妻作歌一首

四六八 柿本朝臣人麿歌三首

四六九 柿本朝臣人麿妻歌一首

四七〇 阿倍女郎歌二首

四七一 駿河嫁女歌一首

四七二 三方沙弥歌一首

四七三 丹比真人笠磨下筑紫國時作歌一首并短歌

四七四 幸伊勢國時當麻磨大夫妻作歌一首

四七五 草孃歌一首

四七六 志貴皇子御歌一首

四七七 阿倍女郎歌一首

四七八 中臣朝臣東人贈阿倍女郎歌一首

四七九 阿倍女郎報贈歌一首

四八〇 大納言兼大將軍大伴卿歌一首

四八一 石川郎女歌一首 即大伴佐保大家也

四八二 大伴女郎歌一首 今城王之母也今城王者後賜姓大原真人氏也

四八三 後人追同歌一首

四八四 藤原宇合大夫遷任上京時常陸娘子贈歌一首

四八五 京職大夫藤原磨大夫贈大伴女郎女歌三首

四八六 大伴女郎和歌四首 佐保大納言卿之女也

四八七 又大伴坂上郎女歌一首

又(元紀)一ナシ

五三 天皇賜海上女王御歌一首 寧樂官即位天皇也

五三 海上女王奉和歌一首 志貴皇子之女也

五三 大伴宿奈磨歌二首 佐保大納言卿之子也

五三 安貴王戀歌一首并短歌

五三 門部王戀歌一首

五七 高田女王贈今城王歌六首

五七 神龜元年甲子冬十月幸紀伊國之時為贈從

駕人所詛娘子笠朝臣金村作歌一首并短歌

五七 二年乙丑春三月幸三香原離宮之時得娘子

笠朝臣金村作歌一首并短歌

五七 五年戊辰大宰少貳石川朝臣足人遷任餞于

筑前國蘆城驛家歌三首

五七 大伴宿祢三依歌一首

五七 丹生女王贈大宰帥大伴卿歌二首

五七 大宰帥大伴卿贈大貳丹比縣守卿遷任民部

卿歌一首

五七 賀茂女王贈大伴宿祢三依歌一首

五七 土師宿祢水通從筑紫上京海路作歌二首

五七 大宰大監大伴宿祢百代戀歌四首

五七 大伴坂上郎女歌二首

五七 賀茂女王歌一首

五七 大宰大監大伴宿祢百代等贈驛使歌二首

五七 大宰帥大伴卿被任大納言臨入京之時府官

之(紀細)一ナシ(西補
一第三)

大(元紀細)一太
少(元紀細)一小

大伴云々(紀)一次行
ノ次ニアリ

大(元紀)一太

大(元紀)一太

人等餞卿于筑前國蘆城驛家歌四首

五七 大宰帥大伴卿上京之後笠滿誓沙弥贈卿歌

二首 大(元紀)一太
大(元紀)一ナシ

五七 大納言大伴卿和歌二首

五七 大宰帥大伴卿上京之後筑後守葛井大成連

悲嘆作歌一首 大(元紀)一太

五七 大納言大伴卿新袍贈攝津大夫高安王歌一

首

五七 大伴宿祢三依悲別歌一首

五七 余明軍與大伴宿祢家持歌二首 明軍者大納
言卿之實人

五七 大伴坂上家之大嬢報贈大伴宿祢家持歌四

首

五七 大伴坂上郎女歌一首

五七 大伴宿祢稻公贈田村大嬢歌一首 姊坂上郎
女作

五七 笠女郎贈大伴宿祢家持歌廿四首

五七 大伴宿祢家持和歌二首

五七 山口女王贈大伴宿祢家持歌五首

五七 大神女郎贈大伴宿祢家持歌一首

五七 大伴坂上郎女怨恨歌一首并短歌

五七 西海道節度使判官佐伯宿祢東人妻贈夫君

歌一首

五七 佐伯宿祢東人和歌一首

五七 池邊王宴誦歌一首

余(紀)一金